

洗心

題字は町田宗鳳さん＝広島大
大学院教授

日韓僧侶が被爆者法要

広島の韓国人慰霊碑前



韓国人原爆犠牲者慰霊碑の前で読経する日韓の僧侶

観音菩薩を本尊にする韓国33カ寺の僧侶たち22人が、このほど平和記念公園(広島市中区)の韓国人原爆犠牲者慰霊碑前で、尾道市や福山市、松江市の僧侶たちと合同法

要をした。

韓国33カ寺は、日本の「お遍路」にあたる巡拝文化を根づかせようと、韓国仏教文化事業団が韓国内の名刹や古刹の中から選定して2008年に開創。世界遺産登録の仏国寺や代表的な仏教聖地の海印寺などがある。

今回は、九州西国霊場会や中国5県の37カ寺でつくる中国観音霊場会(杉村五由会長＝周南市・漢陽寺住職)を視察のた

め広島市などを訪れた。

廿日市市宮島町の大聖院の吉田正裕住職ら札所寺院の7人とともに、日本語と韓国語でそれぞれ般若心経をあげた。

一行は法要に先立って原爆資料館を見学。韓国仏教文化事業団事務局長の真鏡師は「8時15分で止まった時計を見て二度とあってはいけな」と思った。世界平和に向かつて一緒に歩んでいきたい」と話した。

(串信考)